

製品名: TBL2 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab18692**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:5000-1:10000
分子量	50kDa

抗原情報

遺伝子名	TBL2
別名	TBL2; WBSCR13; Transducin beta-like protein 2; WS beta-transducin repeats protein; WS-betaTRP; Williams-Beuren syndrome chromosomal region 13 protein
遺伝子 ID	26608.0
SwissProt ID	Q9Y4P3
免疫原	抗血清はヒト TBL2 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 381-430

背景

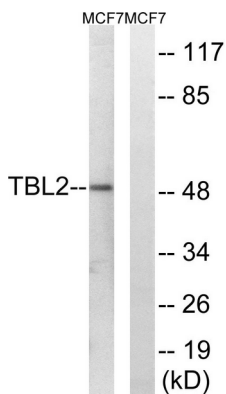
この遺伝子は β -トランスデューシンタンパク質ファミリーのメンバーをコードします。 β -トランスデューシンファミリーのタンパク

質のほとんどは調節機能に関与しています。このタンパク質は、何らかの細胞内シグナル伝達経路に関与している可能性があります。この遺伝子は、7q11.23における複数の遺伝子の欠失によって引き起こされる発達障害であるウィリアムズ・ボイレイン症候群で欠失しています。[RefSeq 提供、2008年7月]、疾患: TBL2のハプロ不全は、ウィリアムズ・ボイレイン症候群 (WBS) [MIM:194050]で観察される特定の心血管系および筋骨格系の異常の原因である可能性があります。WBSはまれな発達障害です。これは、染色体バンド7q11.23の遺伝子が関与する連続遺伝子欠失症候群です。、PTM: DNA損傷時に、おそらくATMまたはATRによってリン酸化されます。、類似性: 7つのWDリピートを含みます。、

研究分野

神経科学; 細胞型マーカー; ニューロンマーカー; 細胞体マーカー; 神経学的プロセス; 神経シグナル伝達; 神経発生; 幹細胞; 生殖系列幹細胞; 胚性生殖細胞; 神経幹細胞; 細胞内; 発生生物学; 生殖; 生殖細胞マーカー; 系統指定; 栄養外胚葉

画像データ



TBL2抗体を用いたMCF-7細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。